

活性化策は法人化に向かって!

●令和元年度の浦高同窓会総会

5月26日(日)は、午後1時30分からさいたま新都心の“ラフレさいたま”にて「令和元年度 埼玉県立浦和高等学校同窓会/総会」が開催され、220名を超える会員が集いました。



最初に令和初の叙勲で旭日大綬章を受けた**木村恵司会長**(17回)に小島克也・浦高校長(30回)から花束贈呈があり、続いて開会のご挨拶。「皆さん、こんにちは。今日は浦高同窓会総会に御出席いただきありがとうございます。私事ではございますが、5月23日に皇居に

て天皇陛下から勲章を頂戴し、多くの皆様からもお祝いの言葉を頂戴しましたことにお礼申し上げます。2011年に三菱地所会長に就任してからは多少時間ができましたので、不動産協会理事長や経済同友会副代表幹事、国家公安委員会委員、日本相撲協会評議員などを務めさせていただいたことが評価されたものと思います。今回の叙勲に恥じないようにこれからも生きてまいりたいと存じます。さて、今日は総会でございますので、提案した4つの議案に対して慎重審議のうえご承認賜りますようお願い申し上げます。特に、本日の議案では、本同窓会の法人化に向けた提案もございます。定款(原案)もお示しておりますが、この原案につきましては9月までに会員の皆様からの御意見伺い、修正などを行い来年の総会で御承認いただきたいと考えておりますので、法人化の方向性について承認を賜りたいということでございます。よろしくようお願い申し上げます」

続いて、**小島校長**からのご挨拶。「皆さん、こんにちは。昨年4月に就任以来、同窓会の皆様には奨学財団やラグビー部事故者を支える会などの活動を通じて大変お世話になっておりありがとうございます。私からは学校の現況など2点についてお話をさせていただきます。1点目は各部活動の活躍です。ラグビー部、陸上部をはじめ7つの部が関東大会に進み、囲碁や将棋も全国大会に進み、科学の甲子園でも優秀な成績を収めています。大学入試でも東大41名や医学部進学などと生徒たちが頑張ってくれています。こうした中で、私は生徒たちに浦高生の精神は『尚文昌武』、学業があって、部活動や学校行事があるということを言っています。もう1点は私の夢ですが、グラウンドの人工芝生化です。



サッカー部とラグビー部の顧問がグラウンドの人工芝生化を申し出てきました。費用を確認すると新設で6~7千万円、さらに10年後には貼り替えて数千万円がかかるということです。県に相談しましたが、ダメでした。ただ、生徒たちに日頃から『無理難題に挑戦』と言ってきましたので、地域のスポーツ拠点になることを目指して私も挑戦したいと思います。また、同窓会の皆様にご支援をお願いすることもあります。皆様の知識やネットワークをお借りできれば幸いです。本日はおめでとうございます」

◇ ◇

■議事

第一号議案 平成30年度事業報告及び決算(案)

※当期収入計約12百万円、支出計約11百万円
正味財産計約60百万円

第二号議案 令和元年度事業計画(案)及び予算(案)

※令和元年度は創立125周年で名簿作成を行う
ただし個人情報保護に最善の注意を行う

第三号議案 令和元年度同窓会役員選任(案)

※令和元年度役員の追加選任で副会長1名、理事4名の追加

第四号議案 同窓会法人化

※(仮称)一般社団法人浦高同窓会の設立への移行を議決してもらい、定款については総会で提示した定款(原案)に対して9月まで意見を募り、定款(案)を作成して令和2年の総会にて議決をいただき、公証人役場での認証を受けて、法務局にて登記を行い法人化が可能となる

以上、4つの議案は総て全会一致で承認されました。

報告事項は、**事務局体制の変更**で篠田雅彦事務局長(32回)、藤野龍宏事務局次長(22回)になったこと、**浦高ビジネス人材ネットワーク**が商社会でスタートしたことなどが報告されました。

◇ ◇

第二部からは、還暦を迎えた幹事年による「講演会」で、今回は29回が担当し、**佐藤達郎氏**(多摩美術大学教授)による講演

「激変する広告界に学ぶこれからのコミュニケーション」(約1時間)でした。毎回、さまざまな分野の方々のお話が聞けて嬉しい限りです。

そして第三部は「懇親会」。スタートは講談「浦高の今昔話」でした。明治29年の開校式以来約125年の歴史物語が語られました。約1時間半の懇親会でしたが楽しく旧交を温めることができました。

